

森 森 り り よ よ う う じ

森
が
動
く。



流山市議会議員

皆さまから議席をお預かりした2011年の統一選挙から2年が経過しました。身に余る程の得票数(4,508票)は議員活動の行動力の源泉である一方、日々、重圧との闘いでもあります。しかし、街中やWEBを通じて頂く温かい声に勇気づけられていることも事実です。

「森が動いている！」…そう感じて頂けるよう、前半の2年以上に行動していきたいと思っております。

森りょうじ 平成25年4・5月号 レポート。(63号)

～ 皆さんと一緒に、森も動く。～

■平成25年第1回定例会ダイジェスト

2/21～3/22の日程で開催されました。今議会は政権交代による緊急経済対策の影響もあり、過去に経験したことの無い変則的な議会運営が求められました。

一方、開会中に議案に関する新聞報道があったことから市民の皆さんも審議経過に大きな関心を寄せられたように思います。話題の中心となった小中併設校の新設と総合体育館建替え事業費(計170億)の一部が計上された平成25年度一般会計予算は原案通りに可決をしましたが、議会内で更に議論を深めていく形となりました。成長し拡大をする街づくりを進めながら、健全な財政運営を心掛けるバランス感覚。自治体運営は大きな分岐点に差し掛かっています。(裏面で特集)

■“投票率”を考える。

3月17日の千葉県知事選挙の投票率は31.96%(流山市は30.4%で千葉県下50位)でした。昨年末の総選挙でも各地で投票率の低下が目立ちました。一票の格差問題や政治改革など政治を取り巻く環境は大きく変化しています。『政治や選挙が果たすべき役割は何か?』ということのを再考する時期なのかも知れません。

政治への国民参加が叫ばれて久しいものですが、果たして10年後、50年後の政治や選挙はどのような姿になっているのでしょうか。

○1976年6月12日流山生まれ(36歳)

※サラリーマン家庭(父はNTTに勤務)で育つ
流山市立新川小、流山市立北部中卒業
日本大学第一高校、武蔵大学経済学部卒業

○2000年4月 大成建設株式会社に入社

○2003年4月 流山市議会議員に初当選(2,692票)

○2007年4月 千葉県議会選挙に挑戦(次点)

○2007年6月 シンクタンク東京財団政策研究員(2年間)

※世界や日本の地方政治・地方自治を研究

○2011年4月 流山市議会議員当選(二期目)

※市政史上の最高得票4,508票をいただきトップ当選

※政治理念はケネディ大統領の「国が何をしてくれるかではなく、自分が国のために何ができるか」。

趣味: 政治(人と語る・駅頭)・読書・コミュニケーション

体型: 身長159.5cm・体重54.7kg

後援会事務所: 流山市中野久木559-2

討議資料

一般質問①

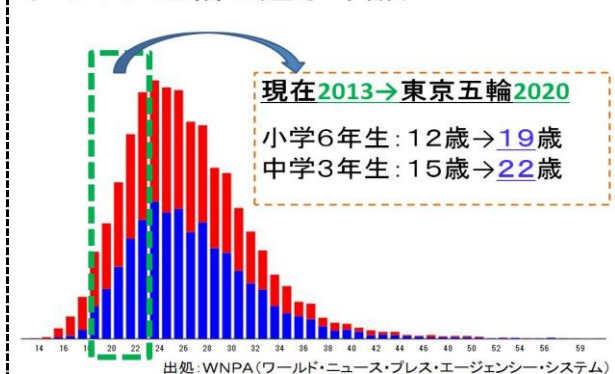
【森は何を質問したのか？】

小・中学校の部活動について

平成 23 年度の部活動の加入率は中学校運動系 77.9%・文化系 21.4%、小学校（4-6 年）は 77.2%です。部活の加入は自主性が原則ですが、大会結果や記録の是非だけでなく学習意欲の向上、連帯感や責任感の涵養にも繋がるとして、学習指導要領にもその意義が明示されています。そこで部活動の現状を確認しました。

後田教育長は「部活は学校教育の重要な一部となっている。また多様化する児童生徒の希望に応えるため外部人材の活用などを更に進めていきたい」と答弁がりましたが、実は文化系では当市が力を入れる英語教育に関連した「英語部」が少なく、iPS 等により関心が高まる「科学部」がある学校も限定されています。多様な部活の設置は「学ぶ子に応える、流山市」を掲げる当市としても必然であり、生徒の可能性を引き出すためにも必要不可欠と言えます。

（ロンドン五輪の選手年齢）



また、2020 年の東京五輪招致活動が本格化する中、五輪選手の誕生に向けた企画の可能性も質しました。最近では箱根駅伝で南部中・東部中の卒業生が活躍した事例があります。選手の低年齢化が進む中（上図）市内の生徒から選手誕生を目指すことにより市内のスポーツ振興、郷土愛の醸成や街おこしも期待出来ます。まずは、生徒が全力で取り組めるような環境作りへの意欲を示した積極的な答弁となりました。
※その他の質問は次号で特集します。また議会だよりと議会インターネット録画でもご覧頂けます。

WebSite「森りょうじ」を検索！
また Twitter・Facebook も更新中！

今後の市政課題について

【第 1 回定例会の総括】

平成 25 年度一般会計予算 498 億円は過去最大規模です。理由として、人口増加が著しいおたかの森地区に小中併設校を新設する事業、また使用年数も長く耐震基準に満たない総合体育館の建替え事業の予算が含まれていたこと等があります。どちらも街づくりを進める上で必要不可欠な施設。ただし、市内での地域間・学校間で目立つ行政サービスの格差や将来的な人口見通しを考えると、事業推進にあたっては様々な分析も必要です。

今回は 2 事業とも政権交代による国からの後押し（補助金）もあり、市民負担の軽減が実現出来ることから絶妙なタイミングとなりました。しかし議会内では事業計画の進め方などについて不十分との意見等も根強く、予算は可決しましたが、体育館建替え事業の予算執行は当面見合わせる事になりました。今後は下記の 2 件について関心をお寄せ下さい！

始める①

【体育館建替えに関する議論について】

体育館建替えに関する事案については議会内で 6 月より公開方式（特別委員会）により協議を行う形になりました。

同施設はスポーツ振興・健康の街づくりに参与するばかりでなく、災害時の避難場所にもなります。皆さんにとって様々な面で影響が伴う施設でもあり、皆さんの声も大切な材料です。

始める②

【適正な議員定数に向けた議論について】

2015 年の選挙に向けて「適正な議員定数」に向けた議論を始めます。このテーマは皆さんの関心が高い一方で、数の多い少ないといった単純な議論に偏重しがち。

これからの地域の姿とその中にある大切な機関（議会）の役割の再確認、という視点を持ち合わせて議論に臨んでいきたいと思ひます。

【連絡先】TEL & FAX:7155-3236
Mail:ryoji612@peach.ocn.ne.jp